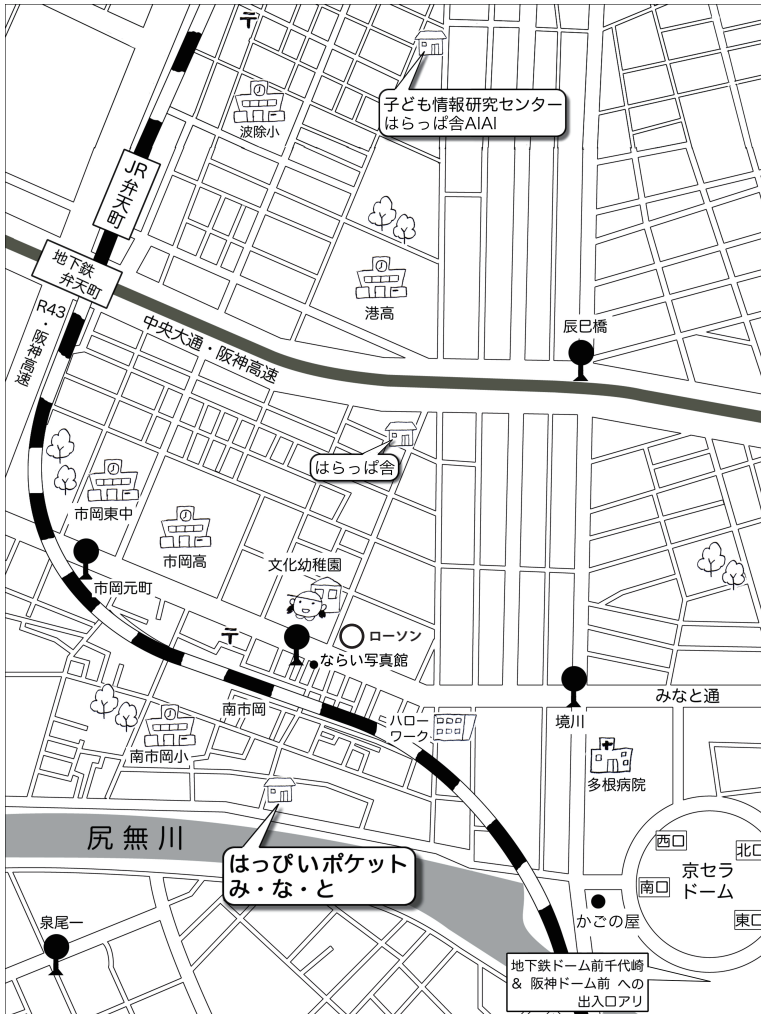


はっぴい ポケット み・な・と

つどいの広場「はっぴいポケットみ・な・と」の主催団体である(公社)子ども情報研究センターでは、子どもの人権に思いを寄せる会員がさまざまな活動をしています。子どもとともに安心して人とつながれる居場所として「はっぴいポケットみ・な・と」を一緒につくっていきませんか！



子育て中の親と子どもだけではなく、プレママ、プレパパ、おじいちゃん、おばあちゃん、ご近所のみなさん、いろんな国のいろんな人が集まってつながりや笑顔が生まれる広場

商店街や子育てサークルをはじめ、地域のたくさんの方々とつながりを大切にしています

好きな時にきて、自由にくつろいでもらえる時間を共有したり、時には楽しいイベントを開催したりみんなで作る広場です

大阪市地域子育て支援拠点事業 はっぴいポケットみ・な・と

費用：無料（行事等では実費徴収もあります）
 開所：月・火・水・金・土 AM9:30～PM2:30
 （木・日・祝日・年末年始などはおやすみ）
 場所：尻無川自治会館1階（港区南市岡1-11-19）
 電話：070-6649-4355
 メール：hapipominato@willcom.com
 アクセス：地下鉄&JR弁天町駅から徒歩約20分
 地下鉄&JR大正駅から徒歩約20分
 南市岡バス停から徒歩約8分
 地下鉄ドーム前千代崎駅から徒歩約20分
 阪神ドーム前駅から徒歩約20分
 委託運営：(公社)子ども情報研究センター
 はっぴいポケットみ・な・とのサイトへ



【お知らせ】午前7時に大阪市内に「暴風警報」又は「特別警報」が発令された場合、または状況により休館になる場合があります。その際のお問い合わせは（10:00～）(公社)子ども情報研究センター（TEL）06-4708-7087（HP）http://www.kojoken.jp/

これからの保育所と幼稚園

幼稚園選びは、広場に集まる保護者の大きな関心事のひとつです。一方、働くことと思うと、子どもが入れる保育所を見つけたことが最重要課題となります。さらに、「障害」をもつ子どもを育てている親は、障害をもつ子は教育にはなじまない幼稚園から断られたり、条件が整っていないと保育所から断られたりと、悲憤にくれることが少なくありません。ところで、保育所と幼稚園と、どうして分かれているのでしょうか。

保育所は、家庭で子育てができない場合に子どもを預かる児童福祉施設、幼稚園は、幼児教育施設とされています。保育所は0歳から就学まで、家庭で子育てができないという何らかの理由が認められなければ入所できません。幼稚園は3歳から就学前の子どものみでも入園できます。

今、国では、これまで全く別の制度だった保育所と幼稚園の一体化をどう進めるかが議論されています。認可保育所が不足して入所できない子どもたち、やむを得ず認可外施設に入所する子どもたちがたくさん存在すること、一方で、幼稚園の保育時間も長くなり、保育所化してきていることなどが背景にあります。

こんな大事なことは、子どもにとってどうかという視点ですね。親が働くことになったから保育所に？親が仕事をやめたから幼稚園に？お隣どうしなのに、親の事情で保育所か幼稚園に別々に通うの？保育所の子どもに幼児教育はいらないの？親が働いていないと3歳までは通うところがないの？…と考えると、働いているかいないかとか、「障害」があるかどうかとか、裕福か貧しいかとか、アレルギーかどうかとかで分けるのではなく、どんな子どももいっしょに通える地域の保育センターが必要なのではないでしょうか。いい施設を選ぶのではなく、地域の施設を質の高い施設にいくことも親の大事な役割だと思うのです。

冊子「新しい子育て・子育て支援子育て温泉」より
 公益社団法人子ども情報研究センター 発行・販売。